

News Release

平成 30 年 1 月 31 日
星野リゾート
株式会社日本政策投資銀行

星野リゾートとの共同運営ファンドを通じた 「沖縄・読谷村リゾート開発計画」への投資実行について

星野リゾート（本社：長野県軽井沢町、代表：星野佳路）と株式会社日本政策投資銀行（代表取締役社長：柳正憲、以下「DBJ」という。）は、日本国内において旅館等の宿泊業を営む企業（以下「国内宿泊事業者」という。）を支援対象とした共同運営ファンド「星野リゾート旅館・ホテル運営サポート 2 号投資事業有限責任組合」（以下「2 号ファンド」という。）を通じて、沖縄・読谷村のリゾート開発計画「（仮称）読谷リゾート北地区開発計画」（以下「本計画」という。）に対して投資を実施しました。本件は、2 号ファンドによる第 1 号案件となります。

本計画は、沖縄本島中部に位置する読谷村の西海岸を対象エリアとし、そこには地域でイノーと呼ばれる、サンゴ礁に囲まれた浅く穏やかな海（礁池）が広がっています。長い時間をかけて自然に形成されたイノーは、魚や海藻、貝などを育み、地元では「海の畑」として、大切に守られています。

このエリアが持つ魅力を最大限に活かし、約 1km の海岸線が続く 12.5 ヘクタールの敷地に低層の建物を建設し、100 室ある客室全てがイノーを望む全室オーシャンビューの宿泊施設を予定しています。すでに起工式を平成 29 年 12 月 1 日に執り行い、同日に着工を開始しております。

本件は、地域経済の活性化や企業の競争力強化に資する成長資金の供給を集中的に実施する取り組みとして DBJ が平成 27 年 6 月に開始した「特定投資業務」を活用した資本性資金の供給によってサポートするものです。本計画に対する投融資は、2 号ファンドに加えて、地域金融機関等と協調して実施しました。2 号ファンドの運営を通じて、地域における観光産業を支える国内宿泊事業者に対して成長資金の供給支援を強力で推進することで、観光交流人口の増大による地域創生に貢献してまいります。

星野リゾートは、旅館およびリゾートホテル等宿泊施設の運営、販売等のノウハウを活かし、これまでも旅館等の支援を手掛けてきましたが、引き続き、本ファンドを通じたリスクマネーの供給拡大により上記の取り組みをさらに推進させていきます。

DBJ は、企業理念「金融力で未来をデザインします～金融フロンティアの

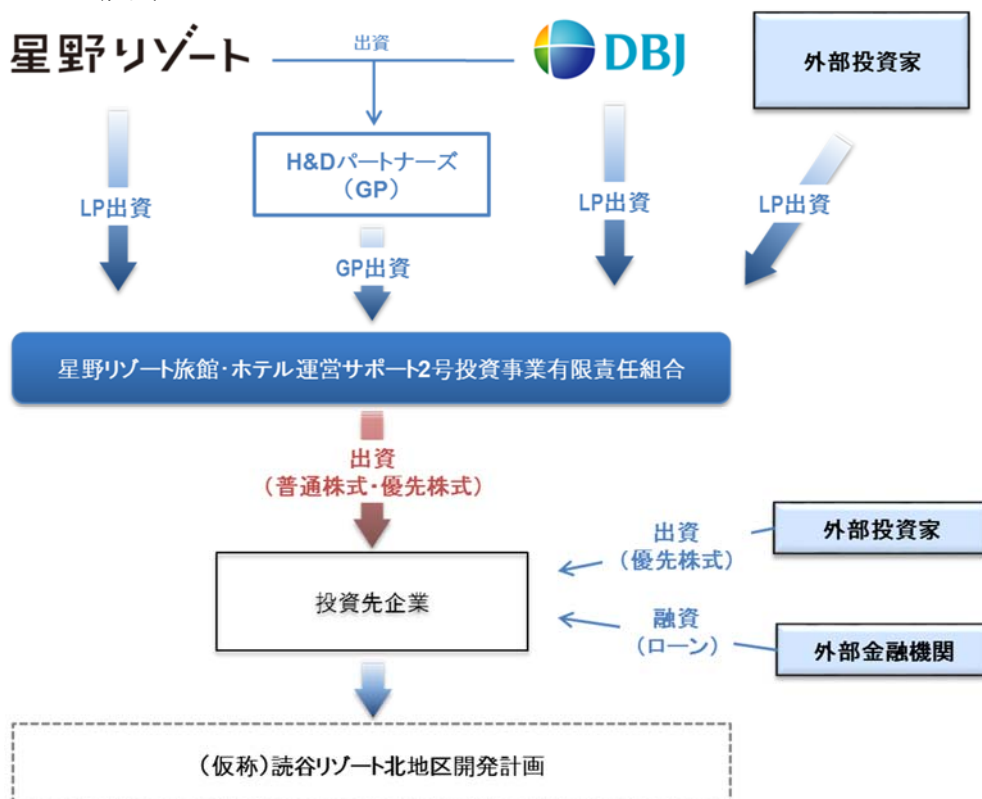
News Release

弛まぬ開拓を通じて、お客様及び社会の課題を解決し、日本と世界の持続的発展を実現します〜」に基づき、今後とも「特定投資業務」を通じた成長資金に係る市場の発展や地域経済の活性化、競争力強化に向けたお客様の取り組みを積極的にサポートしてまいります。

<計画概要>

用途	宿泊施設
ホテルブランド	未定
客室数	100 室
敷地面積	109,276.87 m ²
建築面積	10,622.176 m ²
延床面積	14,810.733 m ²
棟数	53 棟
階数	地上 2 階・地下 1 階
設計者	東 環境・建築研究所／オンサイト計画設計事務所
施工者	佐藤工業株式会社
着工	2017 年 12 月 1 日
竣工	2019 年（予定）
開業	2020 年（予定）
所在地	沖縄県中頭郡読谷村字儀間片江原 406 番
開発面積	125,443.32 m ²

<スキーム概要>



News Release

【案件のご相談に関するご連絡先】

星野リゾート 新事業推進ユニット / (株)日本政策投資銀行 企業金融第6部

e-mail: renewal-fund@hoshinoresort.com

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

(株)日本政策投資銀行 企業金融第6部 電話番号 03-3244-1730

星野リゾート 広報 電話番号 03-5159-6323